

<公害と出会い、向き合うための本> 出版へご協力ください

公害スタディーズ

悶え、哀しみ、闘い、語りつぐ



不知火海

出版支援金 募集中

2021年9月12日まで受け付けています。
ご支援お願いいたします

若い方をはじめ、より多くの方に手にとっていただきやすい価格設定にするため、出版費用（デザインや編集）に皆さまのご支援を活用させていただきます。大学生向けのテキストとしても使用予定です。

目標金額 320 万円

『公害スタディーズ；悶え、哀しみ、闘い、語りつぐ』

- ・ 出版社：ころから <http://korocolor.com/>
(A5判変形、本文 220P、オールカラー、並製)
- ・ 出版日：2021 年 10 月（予定） ・ 予価：1,800 円+税

著者総勢 50 名により、大気汚染や水俣病、イタイイタイ病といった公害だけでなく、食品公害、薬品公害、アスベスト、労災、基地問題や原子力と、公害について全体的・網羅的な内容の書籍です。

応援メッセージ

宮本憲一先生（大阪市立大学名誉教授）

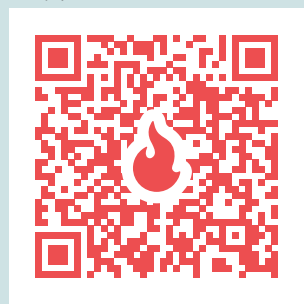


温暖化による災害や新型コロナによる史上最大の災害は、地球環境の危機から起こっています。したがって、公害と同じ社会的災害です。生物的弱者、社会的弱者に被害が集中し、個人では解決できず、社会的に救済をしなければなりません。被害は不可逆的で、予防しなければ元に戻りません。これらの特徴は公害と全く同じです。市民運動による解決の道も同じです。日本は災害の時代に入ったとおもいますが、この危機を克服するために公害の歴史的教訓に学ばなければなりません。

受付方法① クラウドファンディング サイト

<https://camp-fire.jp/projects/view/463976>

詳しくは、↓↓↓↓



受付方法② 銀行振込

銀行振り込みをご希望の方は、事務局（studies@kougai.sakura.ne.jp）までお知らせください。銀行口座等をご連絡いたします



▶ プロジェクト主催者：「公害スタディーズ；悶え、哀しみ、闘い、語りつぐ」編集責任者（安藤聡彦、林美帆、丹野春香）
▶ お問い合わせ先：studies@kougai.sakura.ne.jp ▶ 電話：086-440-0121（みずしま財団内 林）

「公害スタディーズ 悶え、哀しみ、闘い、語りつぐ」 内容・執筆者 概要

(実際の書籍とは項目の順番や題名は一部異なります。敬称略)

第1章 生きることの危機 ー様々な公害

- ・ 大気汚染 (尾崎寛直)
- ・ 水俣病 (高峰 武)
- ・ 新潟水俣病 (関 礼子)
- ・ イタイイタイ病 (向井嘉之)
- ・ カネミ油症 (宇田和子)
- ・ 化学物質過敏症 (中下裕子)
- ・ 地盤沈下 (徳竹真人)
- ・ 軍事基地 (林 公則)
- ・ アスベスト (井部正之)
- ・ 三井三池炭じん爆発 (森久 聡)
- ・ 福島原発事故 (除本理史)
- ・ 足尾鉬毒事件 (高橋若菜)
- ・ 薬害スモン (清水善仁)

第2章 語られた公害

- ・ 患者の立場から 上野エイ子 (水俣病)
- ・ 患者会の立場から 森脇君雄 (西淀川)
- ・ 医師の立場から 青島恵子 (イタイイタイ病)
- ・ 支援者の立場から 旗野秀人 (新潟水俣病)
- ・ 行政の立場から 潮谷義子 (水俣病)
- ・ 企業の立場から 渋谷隆雄 (イタイイタイ病)
- ・ 農業者の立場から 佐藤マリ子 (土呂久)

第3章 公害を探究する学び

- ・ 公害をどう学んでいくか? (原子栄一郎)
- ・ 公害の記録を読む (平野 泉)
ー実践: 記録を読む (平野 泉)
- ・ 視聴覚メディアを利用する (古里貴士)
ー実践: 視聴覚メディア (原子栄一郎)
- ・ 参加型学習を行う (高田 研)
ー実践: 大学でのロールプレイ (岩松真紀)
ー実践: 高校におけるディベート授業 (前嶋 匠)
- ・ 公害を調査する (三谷高史)
ー実践: アスベスト調査の市民学習会 (丹野春香)
- ・ 話を聴く (池田理知子)
ー実践: 小学6年生の総合的学習「夢は奪われたのか」 (小玉敏也)
- ・ スタディツアーに参加する (西村仁志)
ー実践: 高校生の水俣フィールドワーク (小川輝光)
- ・ 公害資料館への招待 (清水万由子)

ー実践: 大学における「四日市公害と環境未来館」の活用 (神長 唯)

第4章 公害と生きる

- ・ 被害者と加害者のキャッチボール (林 美帆)
- ・ 佐伯と土呂久 公害の学びが導く地域づくり (岩佐 礼子)
- ・ 「忘却の文化」から「記憶・学びの文化へ」 (後藤忍)
- ・ 公害は「問い」である (友澤悠季)
- ・ 共に生きることのできる社会を目指して (丹野春香)

<用語解説>

- ・ 公害健康被害補償法 (除本理史)
- ・ 環境権 (大久保規子)
- ・ その他、巻末に43重要用語を紹介

<コラム>

- ・ 水俣事件を「記録」しつづけて (写真と文／桑原 史成)
- ・ レイチェル・カーソンの遺言 (上遠恵子)
- ・ 原発事故に向き合うろう者 (廣瀬彩奈)
- ・ チェルノブイリの経験を世界へ (アンナ・コロレヴスカ)
- ・ アートが伝える公害 (川尻剛士)
- ・ 被告企業からみた「西淀川公害訴訟」 (山岸公夫)
- ・ 「前提」になっていることに疑問をもつ (瀬織あや)
- ・ ”声なき声”を伝える民間伝承施設の挑戦 (力丸 祥子)
- ・ 反原発の「市民科学者」高木仁三郎が目指したもの (菅波 完)
- ・ 四日市公害マンガで関心の「イト」を紡ぐ (矢田 恵梨子)

<資料>

- ・ 公害資料館リスト
- ・ おすすめブックリスト&映像リスト
- ・ 本書関連公害年表
- ・ 用語解説
- ・ 事項／人名索引